

令和3年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市公民館
条例上の設置目的	千葉市公民館設置管理条例（昭和44年千葉市条例第23号） 第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第24条の規定に基づき、公民館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。 （参考） 社会教育法（昭和24年6月10日法律第207号） 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 第24条 市町村が公民館を設置しようとするときは、条例で、公民館の設置及び管理に関する事項を定めなければならない。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	地域住民の生活文化向上をめざし、市民一人ひとりが豊かな人間性を培い、心豊かなまちづくりを進め、「社会が人を育み、人が社会をつくる」という好循環を目指していく。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	地域のニーズに対応した社会教育事業の実施や施設の貸出を行う。 社会教育施設としての機能向上はもちろんのこと、幅広い市民の多様な利用に供する地域の総合交流拠点として充実を図る。
制度導入により見込まれる効果	市民サービスの向上により、さらに多くの市民に施設を利用してもらうという効果を見込んでいる。
成果指標※	① 主催講座の増加数 ② 公民館の施設稼働率（用途・利用時間に制約が大きい調理室を除く）
数値目標※	① 平成28年度主催講座数（763講座）から300講座以上増／指定期間最終年度 ② 52.0%以上／指定期間最終年度
所管課	千葉市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団
構成団体 （共同事業体の場合）	
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7-7
指定期間	平成30年4月1日～ 令和5年3月31日（5年）
選定方法	非公募
非公募理由	「指定管理者選定評価委員会」において、申請内容を管理運営の基準等に照らし審査した結果、公益財団法人千葉市教育振興財団は、千葉市公民館の管理を適切かつ確実に行うことができるものと認められたため。 なお、本施設の管理運営にあたっては、公平性、安定性等が強く求められるとともに、教育の専門性を有し、生涯学習センター等の管理運営が良好で、市民に多様で専門的な講座を実施可能な公益財団法人千葉市教育振興財団が管理運営を行う必要があるため非公募とした。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R3年度実績	達成率※
主催講座の増加数	平成28年度主催講座数 (763講座)から300 講座以上増	1,065講座	100.2%
公民館の施設稼働率(用途・利用 時間に制約が大きい調理室を除く)	52.0%以上	39.0%	75.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	○年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R3年度	【参考】 R2年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	1,320,788	1,314,403	実績－計画	0
	計画	1,320,788	1,314,403	計画－提案	△ 9,309
	提案	1,330,097	1,325,131		
利用料金収入	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
その他収入	実績	2,509	2,184	実績－計画	△ 235
	計画	2,744	2,744	計画－提案	△ 2
	提案	2,746	2,744		
合計	実績	1,323,297	1,316,587	実績－計画	△ 235
	計画	1,323,532	1,317,147	計画－提案	△ 9,311
	提案	1,332,843	1,327,875		

イ 支出

(単位：千円)

費目	R3年度	【参考】 R2年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	729,530	726,879	実績－計画	△ 31,359
	計画	760,889	758,855	計画－提案	△ 64,289
	提案	825,178	822,461		
事務費	実績	99,339	127,075	実績－計画	△ 14,494
	計画	113,833	110,950	計画－提案	△ 8,432
	提案	122,265	121,757		
管理費	実績	305,290	289,063	実績－計画	39,531
	計画	265,759	280,633	計画－提案	82,135
	提案	183,624	182,928		
委託費	実績	187,395	141,646	実績－計画	976
	計画	186,419	147,507	計画－提案	16,117
	提案	170,302	169,443		
その他事業費	実績			実績－計画	0
	計画			計画－提案	0
	提案				
間接費	実績	39,116	41,264	実績－計画	5,380
	計画	33,736	33,535	計画－提案	0
	提案	33,736	33,535		
合計	実績	1,360,670	1,325,927	実績－計画	34
	計画	1,360,636	1,331,480	計画－提案	25,531
	提案	1,335,105	1,330,124		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

間接費の配賦基準・算定根拠

公益法人会計基準に則り6つに区分し、本部経費については、従事割合等の配賦基準により各会計に配賦計上。法人会計に配賦した費用から基本財産、特定資産の運用益等の収益を差し引いた差額を、法人会計以外の5つの会計へ配賦した額の割合で按分し、法人会計の財源として一般管理費に計上する。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R3年度	【参考】 R2年度
自主事業収入	実績	0	0
その他収入	実績	289	99
合計	実績	289	99

イ 支出

(単位：千円)

費目		R3年度	【参考】 R2年度
人件費	実績	192	0
事務費	実績	97	99
管理費	実績	0	0
委託費	実績	0	0
使用料	実績	0	0
事業費	実績	0	0
利用料金	実績	0	0
その他事業費	実績	0	0
間接費	実績	0	0
合計	実績	289	99

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R3年度	【参考】R2年度
必須業務	収入合計	1,323,297	1,316,587
	支出合計	1,360,670	1,325,927
	収支	△ 37,373	△ 9,340
自主事業	収入合計	289	99
	支出合計	289	99
	収支	0	0
総収入		1,323,586	1,316,686
総支出		1,360,959	1,326,026
収支		△ 37,373	△ 9,340
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
平成28年度主催講座数(763講座)から300講座以上増	C	主催講座数実績 1,065講座 コロナ禍による影響(講座の一部中止)
施設稼働率52.0%の達成	D	施設稼働率実績 39.0% コロナ禍による影響(開館時間の20時繰上げ、講座の一部中止、諸室の定員制限、自習室の利用休止など)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満(ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	提案1,330,097千円、実績1,320,788千円、削減9,309千円 (削減額うち、椎名公民館休館による影響8,850千円)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外(市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	・新型コロナウイルス感染症の対策として、マスク着用の徹底や室内の換気、3密の回避の徹底に努めた。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力	B	B	・職員の感染リスクを抑えるために、在宅勤務を実施したほか、一部の職員研修をオンラインで実施した。 ・社会教育主事資格取得の助成を行い、新たに4名が資格取得した。
(1) 人的組織体制の充実			
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務			
施設の保守管理	C	C	・通常清掃以外にも、定期的な消毒を行う等、館内感染予防対策に努めた。 ・公衆無線LANを全館全室に設置し、利用者の利便性を向上させるとともに、災害時の情報収集や通信手段として活用できるようにした。
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮	C	B	・施設の休館や再開に関する情報を迅速かつ適切にHPで提供した。また、一部の館では講座や自習室に関する情報をTwitterやFacebookでも発信した。 ・利用者アンケートの結果や苦情・要望を業務改善の参考とした。 ・講座の受講決定方法についての見直しへの要望があったことから、原則として、全ての講座を抽選制に変更した。 ・感染状況を見極めながら、密集しない範囲で事業を実施したほか、生涯学習センターと連携しオンラインを活用した講座の実施に取り組んだ。
(1) 幅広い施設利用の確保			
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実			
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施			
施設の事業の効果的な実施	C	B	
自主事業の効果的な実施			
4 その他	C	C	
市内業者の育成			
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 千葉市教育委員会指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
公民館利用者で構成される「運営懇談会」の年2回以上の開催との提案に対し、28館は2回実施したもの、19館では1回の開催にとどまった。	平成30年度	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部書面による開催となったが、休館していた椎名公民館を除くすべての公民館で年2回実施した。今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況にもよるが、可能な限り対面による開催方法で実施できるように努めたい。
避難所としての役割があることを含め、公民館の老朽化や設備に対する改善などの整備をできるだけ迅速に進めていただきたい。	令和元年度	令和3年度も引き続き老朽化による建物・設備の修繕に積極的に取り組んだ。
地域の社会教育を高めるという観点から、公民館を利用する機会が少ない若い世代に対しても魅力的となる講座の内容や適正な回数を検討した上で、SNSなどを活用して周知を図られたい。	令和元年度	中学校との連携や若い世代が興味を持てるテーマの講座を開催する等の取り組みを行った。一部の館ではTwitterやFacebookを活用して講座情報や自習室の開放に関する情報発信を行った。今後も参加しやすく、興味を持てる内容の講座を提供できるよう努めたい。
利用者数や利用時間に制限を設けるなど感染防止対策を徹底したうえで、こどもの居場所づくりとして、公民館の諸室を自習室として活用することを検討していただきたい。	令和2年度	令和3年度から自習室の活用について事業計画に盛り込み、全館で通年実施することにしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、実施できない期間が生じてしまった。引き続き感染状況等を見極めながら、実施するよう努めたい。
講座や講演会等の申込方法について、郵送や電子メールなど、利用できる方法を検討していただきたい。	令和2年度	往復はがきによる郵送や電子メールによる応募方法を採用した。またホームページ上から申込ができるよう改修を行っている。
設備の異常や利用者等とのトラブルなど、問題が頻発する公民館については、その解決にあたり、市としても、指定管理者と連携し対応していただきたい。	令和2年度	異常やトラブルが発生した際には、指定管理者は速やかに市に報告し情報共有を図っている。その上で、解決に向けた対応をとれるよう努めたい。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	アンケートの配架・配布				
	回答者数	2,012人				
質問項目		第1 普段、公民館をどのように利用されているか				
		第2 職員の対応について				
結果		第3 部屋や備品等の状況について				
		第1 普段、公民館をどのように利用されているか (複数回答可)				
		項番	項目	人数		
		A	クラブ・サークル会員として活動	1,691人		
		B	公民館主催の講座・事業への参加	1,054人		
		C	図書室の利用	764人		
		D	町内自治会その他の地域における団体での利用等	405人		
		E	あまり利用しない・その他	67人		
		第2 職員の対応について				
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
		80.6%	17.9%	1.3%	0%	0%
		(主な利用者意見)				
		○ 対応が丁寧。				
		○ 良いコミュニケーションや挨拶がある。				
		第3 部屋や備品等の状況について				
		満足	やや満足	やや不満	不満	その他
		60.5%	34.4%	4.6%	0.5%	0.0%

(主な利用者意見)

- きれいに清掃され、整理されている。
- トイレがきれいになった。
- テーブルや椅子、照明が新しくなった。

第4 平成30年4月の指定管理開始以降の公民館についてどのように感じているか

全体として良くなった (または「やや良くなった」)	あまり変わらない	全体として悪くなった (または「やや悪くなった」)
65.0%	34.0%	1.0%

(主な利用者意見)

- 清潔で整理されている。
- 職員の対応が良くなった。

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
公衆無線LANが一部の部屋にしか入らないのを、改善してほしい。	全ての諸室で使用が可能となるように整備した。
トイレの便座が冷たいので、暖房便座を入れてほしい。	暖房便座を順次設置している。
利用できる諸室が少ないので、予備室を利用できるようにしてほしい。	予備室を改修し、貸出諸室として利用可能にした。
机や椅子が古いし、重く、運びにくいので、新しくしてほしい。	机はキャスター付きのもの、椅子は軽量タイプのものに順次更新している。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括 評価	C	所見	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が続いたが、概ね安定した管理運営を行うことができた。成果指標は、施設稼働率については目標達成が厳しい状況であるが、主催講座数については目標達成することができた。生涯学習センターと連携しオンラインを活用した講座の開催に引き続き取り組み、感染予防対策を徹底し安心して施設を利用できるよう、職員全員で対応した。</p> <p>施設の修繕や図書室の環境整備は、引き続き着実に進めることができ、利用者からの評価も良好だった。</p>
----------	---	----	---

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市が施設の利用制限を実施したことにより、成果指標である施設稼働率は、目標数値を大幅に下回る結果となったが、それを除いては、概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われた。</p> <p>①社会教育事業 コロナ禍のため、令和3年度も引き続き諸室定員の人数制限や、主催事業の一部中止があったが、成果指標である主催講座数は、目標の1,063講座に対し、1,065講座を実施し、目標を達成できた。講座の企画にあたっては、幅広い学習ニーズに応えるため、様々な関係機関と連携・協力をを行いながら実施した。また、公民館に直接来館することが難しい市民に対しても、学習機会を積極的に提供していくことが求められていることから、講座の内容に応じてオンラインやサテライトにより開催した。また、子どもの居場所づくりの一環として、自習室の開放を行い、令和3年度は延べ5,289人の児童・生徒が利用した。</p> <p>②図書室管理運営事業 図書館と連携しながら、各種研修や、各図書室への訪問支援を行い、職員の資質向上に努めた。また、各図書室で運営計画を策定することにより、計画的な図書資料の選定や整備、窓口サービス向上を図った。</p> <p>③施設管理・維持管理 コロナ禍のため、令和3年度も諸室定員の人数制限、主催事業の一部中止、自習室の一時休止などがあり、成果指標である施設稼働率は、目標の52.0%に対し、39.0%と目標を大幅に下回ったが、施設の利便性を向上のため、利用者アンケートなどの反映による施設修繕や設備更新を積極的に実施し、オンライン学習のためにWi-Fi環境を全館全室に拡充するなどした。また、突発的な修繕に対しても適切に対応した。</p> <p>④自主事業 公民館をPRするため、野菜市in公民館を開催し、千葉市で収穫できる野菜の解説等のパネル展示も行うことで、食育の推進に努めた。また、財団職員の専門性を活かし、縄文遺跡群のパネル展示や千葉市美術館展覧会での学芸員レクチャーを実施し、市民の生涯学習活動を推進するための学習機会を提供した。</p>
----------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
 D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
 E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 教育委員会事務局指定管理者選定評価委員会の意見

市による評価はおおむね妥当であると認める。また、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、財務に関する事項で特記するものはないと認める。その他、次の事項を本委員会の意見とする。

ア 公民館に配置されているAEDについて、職員がすぐに使用できるように、研修等を受講していただきたい。

イ 防犯カメラ、公衆電話及び自動販売機について、一部の公民館に設置されているが、安全性及び災害時の備え等を考慮して、未設置の公民館にも、設置をしていただきたい。

ウ コロナ禍の中、オンライン講座などの工夫で充実してきており、引き続き、そのメリットを活かしながら工夫して実施していただきたい。